



ぐんま 県球連



2018. 6. 30

たより No. 24

群馬県野球連盟 高崎市石原町1588

普及委員会製作

平成30年度定時総会 平成30年2月17日(土) メトロポリタンホテル高崎



【会場の様子】

会長より議長に吾妻支部宮崎貞夫氏が指名され、議事運営が進められた。報告事項、議決事項、その他が審議されたが、原案通り確認、承認された。(以下抜粋)

【報告事項】

1 上部団体功労者表彰候補者及び優秀チーム等の推薦について

- ・平成29年度県スポーツ功労者賞
県連盟常任理事 往住洋一氏(安中市体育協会推薦)
- ・平成29年度県スポーツ協会表彰(スポーツ功労者賞)
県連盟理事 細山周作氏(富岡市体協推薦)

- 総務委員 池ノ谷正寛氏(県野球連盟推薦)
- ・平成29年度県スポーツ協会ジュニアスポーツ奨励賞
高崎西選抜(県連盟推薦)
- ・平成28年度群馬県ジュニアスポーツ奨励賞
伊勢崎北選抜(県連盟推薦)

2 施行規程の一部改正

- ・第2条関係 県選暦野球連盟加盟について
- ・第6条関係 出場チームの人数編成について
- ・第35条関係 不正出場の処分について

3 県大会競技運営取り決め事項について(参考:7ページ)

4 平成30年度強化指定チームについて

サンデンホールディングス(株)、関東西濃運輸、太田市役所、高崎市役所

5 その他

【議決事項】

- 1 平成29年度事業報告及び決算の承認について
- 2 平成30年度事業計画及び予算の承認について
- 3 その他



【議長の宮崎氏】



【議案を提案する高地理事長】

春季審判技術研修会(講義):2月4日(日) 吉岡文化センター

群馬県審判員技術の向上と、野球の普及発展を図ることを目的に開催された。当日は、東京都高校野球連盟審判委員長西尾由紀治氏による特別講演が行われたほか、本県の全日本軟式野球連盟審判技術指導員から、各種大会実施にかかる審判員としての心構えや、全国高等学校選手権大会に審判員として努めた経験を踏まえた報告などが行われた。

県内各支部から参加した審判員は真剣に聞き入っていた。



【酒井明男審判部長】



【審判技術指導員の皆さん】



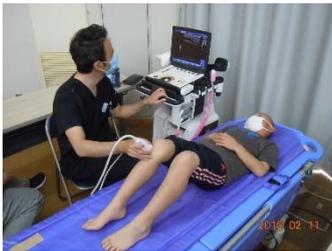
【講師を務めた西尾氏】



【会場の様子】

成長期関節機能検査：平成30年2月11日(日) 群馬大学医学部

成長期のスポーツ外傷・障害の早期発見と予防すること及び野球少年の実態を把握することを目的に、本年度で6回目となる検診会が実施され、県内学童・中学の32チーム、延べ355人が受診した。



【検査の様子】



【検査結果の説明】



【検査の様子】



【ストレッチの実践】



【検査にあたっていただいたドクターの皆さん】

第43回群馬県選抜少年学童軟式野球大会

3月24日～4月1日 上毛新聞敷島球場

各支部からの代表32チームの参加のもと、大会は開催された。開会式では陸上自衛隊第12音楽隊の演奏で入場行進を行い、選手宣誓は三郷小イーグルス(伊勢崎)の渡辺陸斗主将が行った。

決勝戦は桃木フェニックス(前橋)と中之条イーグルス(吾妻)との戦いとなり投手戦による接戦となったが、最終回の攻防により桃木が初優勝を果たした。優勝の桃木は関東近県の代表16チームが参加するGas Oneカップ選手権大会(8月:埼玉)へ出場する。



【↑開会式の様子→】

【決勝】

桃木フェニックス(前橋)	1	0	0	0	0	0	4	5
中之条イーグルス(吾妻)	0	0	0	0	0	0	2	2



【宣誓を行う三郷小渡辺陸斗主将】

第38回全日本学童軟式野球大会

4月21日～5月4日 上毛新聞敷島球場、前橋市民球場、
 渋川市総合公園野球場



【開会式の様子】

(伊勢崎)の打棒が爆発。リトル大胡スターズ(前橋)を下し、初優勝を果たした。優勝の三郷小は全日本大会(8月東京)。準優勝の大胡は関東大会(8月東京)。3位の吉岡ジュニアファイターズ(渋川北群馬)は高野山旗全国大会(7月:和歌山)。4位の生品リトルチャンピオンズ(太田)は阿波おどりカップ(8月:徳島)へそれぞれ群馬県の代表として出場する。

各支部からの代表32チームの参加のもと、大会は開催された。開会式では選手宣誓を広沢子供会(桐生)の横倉陸斗主将が行った。決勝戦は三郷小イーグルス



【選手宣誓を行う広沢子供会横倉主将】



【清水会長から挨拶】



【ドナルド・マクドナルド・ハウス財団支援の赤白ソックス】



【群馬銀行プラスバンド部の皆さん】



【優勝の三郷小イーグルス】



【閉会式の様子】

【決勝】

三郷小イーグルス(伊勢崎)	0	1	4	3	3	11
リトル大胡スターズ(前橋)	1	0	0	0	0	1
	(5回コールド)					

第5回群馬県女子学童軟式野球大会

5月3、4、5日 上毛新聞敷島球場

今年度から北毛ガールズが大会に新たに加わり7チームでの大会となった。決勝戦は終盤に一旦は初優勝を狙ったおおたガールズが逆転したが、前橋ガールズがおおたを再逆転し、大会5連覇を果たした。優勝の前橋はNPBCUPガールズトーナメント(8月愛媛)。準優勝のおおたはEneOn Cup女子大会(8月埼玉)へ出場する。



【優勝の前橋ガールズ】



【閉会式の様子】



【阿左見選手の逆転打】

【決勝】

おおたガールズ(太田)	1	0	0	0	0	4	0	5
前橋ガールズ(前橋)	0	2	0	0	1	5	×	8

天皇賜杯第73回全日本軟式野球群馬県大会

4月14、21、28日、5月5日 敷島・安中西毛・桐生・館林・いづみ



【市川選手の逆転サヨナラ満塁本塁打】

点リードで迎え初優勝も見えた9回裏、関東西濃の反撃にあい、最終的には劇的な逆転サヨナラ満塁本塁打が飛び出し、関東西濃が優勝を果たした。優勝の関東西濃は全国大会(9月山形)及び関東選手権大会(10月千葉)へ出場する。



【優勝の関東西濃運輸】

【決勝】

アイオー信用金庫(伊勢崎)	0	1	0	0	0	0	0	4	1	6
関東西濃運輸(推薦・安中)	0	1	1	1	0	0	0	0	4x	7

決勝戦は3年ぶり3度目の優勝を狙う関東西濃運輸(推薦・安中)と、推薦チームを破り初の決勝進出を果たしたアイオー信用金庫(伊勢崎)の戦いとなった。先制された関東西濃であったが、中盤までには細かく得点を重ね逆転した。しかしアイオーが終盤に粘ったうえ再逆転し、3



【関東西濃先発の柏瀬投手】



【アイオー先発の竹内投手】



【ガックリ大川捕手】



【ホームベース上で万歳】



【閉会式の様子】

第73回群馬県実業軟式野球大会

5月19日～6月10日 上毛新聞敷島球場ほか



【選手整列】

開会式は上毛新聞敷島球場において、A(24チーム)、B、C、壮年(各32チーム)の4クラスの参加チーム(120チーム)の参加のもと盛大に開催された。大会は県内14会場に分散し、あわせて116試合が行われた。



【挨拶する清水会長】



【前年度優勝旗優勝杯の返還】



【選手宣誓のサンデン豊村主将】

【Aクラス】

決勝戦は3年ぶり2度目の優勝を狙った関東西濃運輸(推薦・安中)と、22年ぶりの決勝戦進出で初の優勝を狙った群馬銀行(前橋)との戦いとなった。試合はそつなく着実に得点を重ねた関東西濃が優勝を果たした。優勝の関東西濃は国体関東ブロック大会(8月茨城)及び水戸市長旗東日本大会(11月茨城)に出場。準優勝の群馬銀行は会長旗関東選抜大会(10月東京)に出場する。

【決勝(A)】

関東西濃運輸(推薦・安中)	1	1	1	0	1	0	0	1	0	5
群馬銀行(前橋)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



【Aクラス優勝の関東西濃運輸】



【Aクラス閉会式の様子】

【B・Cクラス】

Bクラスは投手戦となったが、追いつがるエム・キッズの反撃を1点差に抑えJA全農ぐんま野球部(前橋)が初優勝を果たした。

Cクラスは一転して両チームあわせて31本の安打が記録される打撃戦で、延長にまでもつれた激闘の上、東京ガス(高崎)が初優勝を果たした。

両クラスの優勝チームは高松宮杯第62回関東予選大会(6月山梨)へ、準優勝の両チームは第24回関東選抜ミズノトーナメント(10月埼玉)へ出場する。

【決勝(B)】

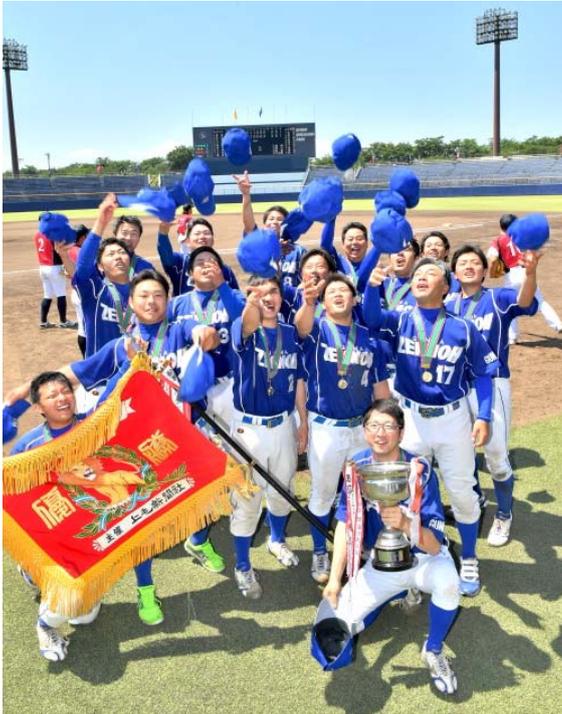
エム・キッズ(前橋)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
JA全農ぐんま野球部(前橋)	1	0	0	1	1	0	0	0	x	3

【決勝(C)】

カーバンク群馬クラブ(桐生)	0	6	2	1	2	0	0	0	0	11
東京ガス群馬(高崎)	1	2	2	0	0	3	0	0	3	1x

(延長10回)





【Bクラス優勝の
JA全農ぐんま野球部】



【Cクラス優勝の東京ガス群馬】



【Cクラスの閉会式の様子】

【壮年】

いったんは追いつかれたフォーティファイバーズ(高崎)だったが、中盤からのチャンスを確実のものにし、得点を重ね、2連覇を果たした。

優勝のフォーティファイバーズ(推薦・高崎)は日本スポーツマスターズ関東予選会(7月山梨)へ、準優勝のフェローズ(前橋)は関東・東北・北海道大会(9月北海道)へ出場する。

【決勝(壮年)】

フェローズ(前橋)	0	0	3	0	0	0	0	3
フォーティファイバーズ(高崎)	3	0	0	3	0	2	x	8



【フォーティファイバーズの
豊田投手】



【フェローズの小板橋投手】



【壮年優勝のフォーティファイバーズ】



上位大会の結果

大会名	会期	会場	参加	優勝チーム	県代表	
全日本春季少年大会	3/23～25	静岡	32	高知中学校（高知）	広沢中学校（1回戦）	
第5回関東・北信越女子中学大会	3/24、25	埼玉	16	福井ダイヤモンドガールズ(福井)	群馬エンジェルス(1回戦)	
第22回関東選抜交流大会	4/7、8	茨城	16	関東西濃運輸(群馬)	関東西濃運輸(優勝)	
					サンデンホールディングス(ベスト4)	
第13回五味博一旗北信越・関東ブロック大会	5/18～20	長野	18	岐阜信用金庫(岐阜)	太田市役所(1回戦)	
第40回東日本大会	1部(B)	5/25～28	静岡	28	千葉日野自動車野球部(千葉)	咲久咲久(前橋)ベスト8
	2部(C)	6/8～11	石川	28	ネットヨリ仙台野球部(宮城)	関東西濃サンクス(安中)2回戦

県大会予定

【県大会】

開催期	大会名	会場
7月21日～	県壮年	敷島・安中西毛・沼田・富岡・藤岡
7月22日～	県熟年	敷島・太田・館林・渋川・いづみ
8月 3日～	J A群馬杯県学童	敷島・高崎城南
9月 1日～	県クラブ人	敷島・いづみ・藤岡・太田
10月5日～	ニッポンハム杯学童秋季	敷島・富岡・藤岡
10月6日～	ガールズトーナメント	敷島・富岡・藤岡
10月 7日～	東日本県予選	敷島・安中西毛・太田・高崎城南・桐生・渋川・館林・前橋市民・伊勢崎
10月 7日～	県町内対抗	敷島・富岡
10月21日～	会長賞県熟年選手権	敷島・桐生・高崎城南
10月27日～	会長賞県壮年選手権	敷島・伊勢崎・前橋市民
11月8日～	上毛社旗県選手権	敷島

【主管大会】

開催期	大会名	会場
11月 3日～	関東クラブ人大会	太田・いづみ

県大会競技運営取り決め事項（総会時報告事項）

大会	正式回数	延長戦	同点の場合
学 童 大 会	7回戦	行わない	タイブレイク方式（特別延長戦）を行う
	<p>○ 健康維持・大会運営を考慮し、7回または2時間15分（女子学童は1時間50分）を経過した場合は新しいイニングに入らず、均等回の得点をもって勝敗を決する。なお、同点の場合は、直ちに2イニングを限度にタイブレイク方式（特別延長戦）を行い、決着がつかないときは、抽選で決定する。</p> <p>○ 抽選方法は、全軟連「競技に関する連盟特別規則」（競技者必携参照）に定める方法とする。</p>		

大会	正式回数	延長戦	同点の場合
成年大会	9回戦	1 2回まで (決勝戦は勝敗が決定するまで)	タイブレーク方式(特別延長戦)を行う。 (決勝戦は除く)
	<p>○ 健康維持・大会運営を考慮し、1 2回または2時間40分を経過した場合は新しいイニングに入らず、均等回の得点をもって勝敗を決定する。なお、同点の場合は、直ちに2イニングを限度にタイブレーク方式(特別延長戦)を行い、決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。</p> <p>[特例]</p> <p>I 県実軟大会B・C、県クラブ人大会および東日本1部・2部県予選会の準決勝戦までは、正式回数は7回戦(制限時間2時間15分)とし、同点の場合は、直ちに2イニングを限度にタイブレーク方式(特別延長戦)を行い、決着がつかないときは抽選で勝敗を決定する。</p> <p>○ 抽選方法は、全軟連「競技に関する連盟特別規則」(競技者必携参照)に定める方法とする。</p>		
壮年大会	7回戦	行わない (決勝戦は勝敗が決定するまで)	タイブレーク方式(特別延長戦)を行う。 (決勝戦は除く)
	<p>○ 健康維持・大会運営を考慮し、7回または2時間15分を経過した場合は新しいイニングに入らず、均等回の得点をもって勝敗を決定する。なお、同点の場合は、直ちに2イニングを限度にタイブレーク方式(特別延長戦)を行い、決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。</p> <p>○ 抽選方法は、全軟連「競技に関する連盟特別規則」(競技者必携参照)に定める方法とする。</p>		
町熟内年対大抗会	7回戦	行わない	タイブレーク方式(特別延長戦)を行う。
	<p>○ 健康維持・大会運営を考慮して、7回または2時間を経過した場合は新しいイニングに入らず、均等回の得点をもって勝敗を決定する。なお、同点の場合は、直ちに2イニングを限度にタイブレーク方式(特別延長戦)を行い、決着がつかないときは、抽選で勝敗を決する。</p> <p>○ 抽選方法は、全軟連「競技に関する連盟特別規則」(競技者必携参照)に定める方法とする。</p> <p>○ 審判3人制(会長賞の決勝戦は4人制)</p>		